県大島支庁徳之島事務所、完成現場見学会

近代的な校舎に感激

高校生や地域住民に公共事業への理解を深めてもらおう－と、県大島支庁徳之島事務所（池田準所長）は8、9の両日、徳之島町亀津の「新設徳之島高校管理教室棟改築工事（2期）」（渕上建設工業・前田建設JV）の完成現場見学会を実施した。

県では「共生協働の取り組み」として、これまでもまちづくりをはじめさまざまな県有施設の建設・整備を地域住民や利用者と協働で取り組んでいる。

見学初日の8日は、高校生と学校関係者計91人が参加。生徒らは完成したばかりの校舎職員室で工事概要や事業目的、設計コンセプトなどを担当者から聞いたあと早速、建物内の見学を行った。

生徒らは真新しい校舎に感激した様子で「とてもきれいで使いやすそう」「勉強も頑張りたい」「後輩たちのためにも大事に

真新しい校舎に喜ぶ生徒ら＝徳之島町の新設徳之島高校で

の強調は最高」などと口々に喜びを表していた。

なお、翌9日は一般住民や県建築士会大島支部、徳之島町建築協会など建築関係者が参加。住民参加型の手法を取り入れた近代的な校舎に感心しきりだった。

同校舎は、RC造4階建て（2208・39㎡）で7月31日に完成したばかり。同校では20日までに引っ越しを完了し、2月期から新校舎での授業をスタートする。

鹿児島造園技術専門校修了式

21人が新たな出発

鹿児島造園技術専門校（坂上久美子校長）は12日、鹿児島市の同校で短期訓練第70期生修了式を開き、21人の修了生を送り出した。

坂上校長は式辞を述べ、「3カ月間の厳しい訓練でしっかりした技能を身につけました。次につながるよう努力してください」とはなむけの言葉を送った。

修了生を代表して、徳留定夫さんと県立宮之城高等技術専門校の委託訓練生代表の宮原清美さんに、それぞれ修了証書を授与。また、クラス委員長を務めた宮原さんに感謝状を贈り、修了を祝った。

県職業能力開発協会の住吉徹専務理事らが祝辞を述べた後、同校と修了生がそれぞれ記念品を贈呈。修了生からは中道慶子さんが代表して10尺脚立2本を贈った。

宮原さんは「あっという間に過ぎた3カ月でした」と修了生を代表して謝辞を述べた。

感謝状を受ける宮原さん＝鹿児島市の鹿児島造園技術専門校で

南九州市商工観光課など灯ろう制作

平和コンサート　戦没者を慰霊

竹灯ろうづくりに励む参加者ら＝南九州市の平和公園で

南九州市（霜出勝平市長）は8月15日の終戦記念日に、同市知覧町の平和公園で「灯ろうを囲む平和コンサート」を初めて開催することになり、その準備のための竹灯ろう制作を12日、地元業者らの協力を得て現地で実施した。

これは、第二次大戦時に戦火に散った多くの若き特攻戦没者らの御霊を、遺族をはじめ同地を訪れる観光客らと共に弔うために計画されたもので、今回は、その慰霊コンサートに使用する「竹灯ろう」の制作を、同市観光課（村永正人課長）の職員と協力要請を受けた㈱田川組の社員らが行った。

平和公園敷地内で行われた作業には、同課の職員と同社の社員ら約15人が参加。現場では、十数mの大きなモウソウダケを約15～20cmにグラインダーで小分けした後、3本1対となる竹灯ろうを丁寧に縄で結って制作。

作業は、終日にわたって続けられ、参加者らの懸命な努力のおかげで夕方までに約1000対の竹灯ろうが完成した。

知覧町観光協会の近藤友征会長は「知覧は、歴史と文化に出合える町として年間を通して多くの観光客が訪れている。戦後63年が経った今、戦争経験者も年々少なくなり、戦争の歴史を語り継ぐ人が少なくなってきた。われわれは、この地に住む住民として歴史を後世へと伝えていく義務があると思う。初の試みとなるが、多くの方々の参加をいただき、平和を継承するためにも次のステップへとつなげていきたい」と抱負を語った。

なお、同日はMBCタレントの野口たくおさんを総合司会に、「となりのトトロ」でおなじみの井上あずみさんら有名歌手が多数出演して祭りを盛り上げる。

問い合わせは、同市商工観光課（☎0993・83・2511）まで。

地域貢献活動

～ 野田地区同志会 ～

嶽ダム周辺を除草

旧野田町の建設業および管工事業の有志らからなる出水市建友会野田地区同志会（特手祐治会長）は11日、土地改良施設保全活動の一環として毎年恒例となった出水市野田町の嶽ダム周辺で除草作業を実施した＝写真＝。

今回の作業には、会員のほかに同市野田支所職員や県北薩地域振興局農林水産部出水支所農村整備課の職員ら総勢35人が参加。

管理事務所前での出発式では、特手会長が「猛暑での作業になりますが、水分補給を十分に行って無理をしないよう作業をしてください」と挨拶。

参加者らは管理事務所を起点にダム湖を囲む周回道路（約2km）を東西に2班に分かれて作業を開始し、周回道路の除草作業や町民らが植樹した桜並木の草払い、展望場の草むしりや清掃などを行った。

参加企業は次の通り。

福井組　蒲井建設　宮脇建設　桑原建設　第一産業　アーステクノ　別府水道住宅設備　時吉建設

～ 親和電機 ～

通勤の朝清々しく

㈱親和電機（篤俊治社長）は11日、鹿児島市照国町の国道3号沿い（約500m）の歩道や植栽部の清掃ボランティアを実施し、地域住民らに感謝された。

同社では環境マネジメントシステム「KESステップ1」の取り組みの一環として環境負荷低減運動を推進、今回のような奉仕活動を年間4回実施している。

同日は、早朝から社員20人が参加＝写真＝。作業を前に同社の環境管理責任者・田方一樹さんから清掃場所やごみの分別方法などの説明を受けた後、早速作業に入った。時間帯が朝の通勤ラッシュと重なったため、各自が歩行者や自転車、車などに注意を払いながらの作業となった。社員らは、小雨がチラつき落し暑い中での作業にもかかわらず懸命に取り組んでいた。

作業終了後、篤社長は「通勤・通学の人たちが清々しい気持ちで朝を迎えられるように街を奇麗にしたい。今後もさらなる地域貢献活動に取り組んでいきたい」と抱負を語った。

～ 中村 ～

流した汗心地良く

㈱中村（中村俊徳社長、大口市）は11日、今年も会社近くの市道・西郷原学校線の草刈りと空き缶拾いなどの清掃奉仕作業を行った＝写真＝。

同作業は、5年前の事業継承以来、毎年この時期に行っており、お盆を前に帰省者や墓地を訪れる市民らに喜ばれている。

この日の作業は、草刈り機による除草のほか歩道に堆積した土砂やコケのはぎ取り、空き缶やペットボトルなど投棄ごみの収集に取り組んだ。炎天下、社員らは全身汗だくになりながらも懸命に作業に当たった。

作業後、中村社長は「途中、気立にも遊いましたが、美しい道路に生まれ変わったことで、流した汗も心地良いものでした。これからも、毎年実施して、地域の人々に喜んでいただきたい」と抱負を語った。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道編集部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。

E-mail:hensyuubo.kc-news.co.jp